

NPO 富里のホタル

NPO法人 NPO富里のホタル 編集委員会 発行 2016.12.15 第39号

第5回里やま塾「森の伐採体験」、秘密基地づくりコンテスト！

11/5(土)、子供達はこんなにも秘密基地が大好き、と言う事が分かった日でした。伐採体験から始まったこの日の「里やま塾」。女性も小さな子も、大きくて太い杉の木を伐り倒しました。十分な安全確保をしても、スリルと緊張の体験です。そして秘密基地づくりへ…。我々スタッフが用意した竹の骨組みに稲わらを取り付けて、お気に入りの基地に仕上げます。のぞき窓や非常用の脱出口など、思いも寄らぬものが出来上がって行くのでした。木の実やツタ、いろいろな葉っぱで飾り付け。デザインはもちろん、ネーミングと完成記念のポーズも審査対象です。イベント終了後も一部の子供達は、いつまでも秘密基地のまわりで遊んでいて、なかなか帰らないのでした。



★着々と基地づくりは進む



★まずは外壁工事から…



★細身の美女が太い樹を伐り倒す



★僕が伐ったぜ、どんなもんだい！



★命名「トナカイの家」？？



★自作の窓から見える景色は？



★命名「みんなのニコニコハウス」確かに…



★拾った枝で弓づくり、子供は遊びの天才



★命名「不思議なゆめの国」なるほど…



★子供達がたたずむ秋の里やま



★小さな子が大きな樹を伐り倒す

成田コスモポリタン RC 例会で活動紹介



11/2(水)、ホテル日航成田で、成田コスモポリタン・ロータリークラブの皆様(約40名)を前に、私たちの活動紹介をしました。7/26(火)の、富里ロータリークラブでの活動紹介に続き、招待されたものです。たくさんのスライドを見て頂きながら、鈴木副理事長が説明しました。私たちの多彩な活動に驚き、感心して頂けたようです。



第4回里やま塾「古代米の収穫体験」、火起こしコンテスト！

10/8(土)、予報は午後から雨、順延か決行か…。悩んだ末に決行。決めてしまえば成功させるのみ。講師の吉井さん(十四農園)に稲刈りを教わり、いざ田んぼへ。今年は雨が多かったせいか、ゆるゆるの田んぼに大人も子供も苦戦しますが、リピーターも多くてあっという間に収穫が終わってしまいました。その後は、サブイベントです。



★パンツードでいざ田んぼへ

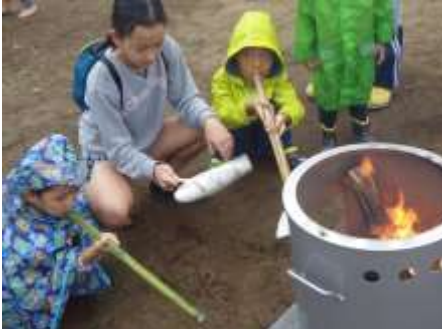
★本格的メニューボードと作者の亜美里さん



★どんぐりのお金を払って焚き木を購入



★ウチワと火吹き竹で強力火起こし



★みんなで刈るとすぐ終わり、手際よく結束・おだ掛け



★焼きそばの具は無料取り放題



★見事な手さばきを見よ！



★子供のあこがれ、お菓子のつかみ取り

★厳しい評価を下す審査員2名

第10回定期総会の開催について

下記のとおり開催しますので、是非ともご出席ください。

▼日時：2017年2月4日(土)13:30~15:30

▼会場：とみさと市民活動サポートセンター(市役所敷地内 ☎93-4123)

▼議題：①H28年度事業報告、事業収支決算、会計監査報告

②H29年度事業方針、事業計画、事業収支予算

③役員の改選について

※総会後のイベントとして「活動10年を振り返って」・「里やまの虫たち」などの



講演「里やまと子どもたちから教わったこと」千葉地区富里大会

10/21(金)、富里中央公民館で千葉県国公立幼稚園・こども園PTA研究連絡協議会の富里大会が開催され、200名以上の聴衆を前に、当NPOの山崎卓さんが講演しました。



私たちの活動の様子や出前授業を通じての幼稚園児たちとのふれあい、本質を突いた率直な質問に困惑したことなど、実体験を元にユーモアたっぷりに話しました。また後半では里やまが作り出した独自の生態系・環境が、ホタルをはじめとした生きものたちや人間たちに深く重要な影響を与えてきたこと、そして失われつつある里やまの環境を守る大切さを分かりやすく講演しました。大会終了後、講演を聞いた近隣の園長先生から出前授業の問い合わせが来るなど、盛況の内に終了しました。





今年も「印旛沼流域環境・体験フェア」へ！



佐倉ふるさと広場の向かいで、第14回印旛沼流域環境・体験フェアが10/29(土)と30(日)に開催され、私達は30日に出席しました。天気に恵まれず寒い日でしたが、満開のコスモスに迎えられる気分がなごみます。今年から八街北中科学部も出展し、木の実工作を、私達は隣りのブースで竹工作を無料体験してもらいました。お馴染みの昔の農機具は欠かせない展示物となり、今回も大人から子供まで楽しんでもらいました。



▲子供達はゴミの排出口に興味津々



▲足踏み式脱穀機で稲束を脱穀。初体験に感激する女の子



▲今年は青竹を使って花器や竹トンボ作りに挑戦。筆立てや小物入れに使えるので女性に人気でした。



木の実で GO！ 第25回リサイクルフェアに出展



▲トトロと榎の耳を付けた可愛い子犬？

10/21(日)、巷ではポケモン GO！富里中央公園では木の実で GO！昨年は途中で材料不足なる程のお客さん。今年も予想を超えて大盛況でした。スタッフの作ったサンプル以上の出来栄に驚きです。子供達は想像力が豊かで、秘密基地やミニ庭園のような奇抜なデザインに、大人達は置物として使えるようバランスを考えながら、楽しそうに仕上げていました。作品と一緒に収まった写真をご覧下さい。満足気な笑顔に溢れていませんか？



富里第一小3年生「自然観察会と昔遊び」竹工作と焼き芋体験も

10/31(月)、自然観察会を支援しました。天神谷津への行き帰りは、いつもながら子供達との会話がはずむ楽しいひと時です。谷津に入ると秋の虫や草花を探します。今年の昔遊びは、パチンコや竹ポックリ、竹の花器づくりを体験してもらいました。その花器は、11月の生け花教室で使うとのことです。さらに焼き芋づくりまで…。楽しさ連発で、終了後、子供たちは放心状態になり、午後の授業に支障をきたしたそうです。



▲初めてなのに上手だね！



▲青竹で花器づくり



▲お互いの作品自慢

生きもの出前教室、市内2幼稚園で開催

10/24(月)に末廣幼稚園で、10/25(火)に向台幼稚園で「生きもの出前教室」を行いました。事前に天神谷津で採取した秋の虫たちや昆虫標本と一緒に、園児達のもとへ…。最初はいつものようにスライドを使って生きもの名前あてクイズ「このかお、だあれ？パート2」です。いつもながら、大きな声と共に一斉に挙がる手に圧倒されます。生きものに触ってみようコーナーは、ザリガニ・ドジョウ・ヘラクレス・クワガタが相変らずの人気者です。今回のゲスト昆虫はオセアニアに生息する、七色に輝く世界一美しいニジイロクワガタ。見たこともないクワガタに興味津々。それを私達が持ち込んだマイクロスコープで画面に映し出すと、目を丸くして見入っていました。



▲小さな生き虫を手にとって説明するスタッフに釘付けの園児たち



▲虫クイズを出すスタッフは、いつも体を張って園児と向き合います



▲クワガタムシを虫眼鏡で観察する虫好きな男の子



▲秋の虫、イナゴやオンブバッタは子供達にも愛されているようです。

★天神谷津★いのち 生命のにぎわい

秋の雑木たち

春に、目の覚めるような鮮やかな新緑を見せた雑木たち。冬が近づくと、味わい深い紅葉の景色となります。雑木たちがつくり出す環境に、膨大な生きものが依存して、厚みのある生態系が成り立ちます。キノコのホダ木に、炭や薪として燃料に、落ち葉を堆肥に…。人はずっと、雑木たちからそのような恵みを得て来ました。子供の頃、クワガタやカブトムシを見つけたり、木登りしたり、アケビやガマズミを食べたり、秘密基地をつかったり、と言う経験をした人も多いはず。そんな、生きものと恵みと楽しさに満ちた、豊かな雑木林を取り戻したいと夢見ています。



会員紹介 鈴木 美代子さん



富里市十倉在住の鈴木です。若い頃、家を出ていたことはありますが、生まれも育ちも富里市です。遠くに故郷を持つ人に憧れます。私が子供の頃、家のまわりは畑地ですが、ホタルが数匹家の中に飛んできたのを覚えています。吊った蚊帳の中に入れて遊びました。現在も富里にホタルが生息していて、大切に守っている人達がいることに驚きました。ホタルの棲める環境を維持していくのは大変だと思いますが、次の世代に引き継いでいきたいものです。私の一番の趣味はジャム作りでしょうか。梅・ブラックベリー・柚・イチゴ、殆どが家のまわりで採れるもので作ります。以前、桑の実で作ったこともあります。茎はやわらかくならず、邪魔でした。ジャム作りは無心で、ストレス解消になる気がします。行事に参加出来ないことが多いと思いますが、細く長くお手伝いしたいと思います。よろしくお願いします。

NPO 富里のホタルは、谷津田などでホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

会員募集

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161
事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp

現在の会員数: 0180